

2021年7月19日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 立川 征吾
T E L 0572-56-1212
U R L <https://www.h-holdings.jp>

連結子会社の再編（完全子会社間の合併）の一部中止及び株式会社ひかり工芸による株式会社ケイズクラフトの完全子会社化に関するお知らせ

当社は、「連結子会社の再編（完全子会社間の合併）及び商号変更に関するお知らせ」につき2021年7月6日付で開示いたしましたが、株式会社ひかり工芸による株式会社ケイズクラフトの吸収合併につきましては、吸収合併を中止し、株式会社ケイズクラフトを株式会社ひかり工芸の完全子会社とすることを本日開催の取締役会において決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 吸収合併を中止し、子会社化する理由

当社セグメントでタイル・石材加工販売事業に位置付けております、株式会社ひかり工芸及び株式会社ケイズクラフトは、関東エリアを株式会社ひかり工芸、関西エリアを株式会社ケイズクラフトと商圏を分け、それぞれが加工販売事業を営んでおります。当初、当該2社を合併させることにより、経営資源の最適配置・最大活用が見込めると考えておりましたが、消滅会社となる株式会社ケイズクラフトの顧客の引き継ぎが難しいと判断したため、同社を株式会社ひかり工芸の完全子会社として存続させることと致しました。

2. 株式取得を実施する当社子会社（株式会社ひかり工芸）の概要

| | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 名 称 | 株式会社ひかり工芸 |
| (2) 本 店 所 在 地 | 岐阜県多治見市笠原町 2841 番地の 1 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 倉地 太 |
| (4) 事 業 内 容 | タイル・石材加工販売 |
| (5) 資 本 金 | 900 万円 |
| (6) 設 立 年 月 日 | 2001 年 9 月 4 日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 株式会社ひかりホールディングス 100% |

| | |
|-------------|--|
| (8) 当社との関係 | |
| 資本関係 | 当該会社は当社が100%出資している会社です。当該会社は当社にとって子会社の関係となります。 |
| 人的関係 | 当社の取締役が当該会社の代表取締役を務めております。 |
| 取引関係 | 当社は当該会社の経営指導を行っております。 |
| 関連当事者への該当状況 | 当社の100%子会社であります。 |

3. 異動後の孫会社（株式会社ケイズクラフト）の概要

| | |
|---------------|--|
| (1) 名称 | 株式会社ケイズクラフト |
| (2) 本店所在地 | 岐阜県多治見市笠原町 3910 番地 1 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 倉地 太 |
| (4) 事業内容 | タイル・石材加工販売 |
| (5) 資本金 | 300 万円 |
| (6) 設立年月日 | 2011 年 1 月 18 日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 株式会社ひかり工芸 100% |
| (8) 当社との関係 | |
| 資本関係 | 当該会社は当社 100%子会社の株式会社ひかり工芸が 100%出資する会社となります。当該会社は当社にとって孫会社の関係となります。 |
| 人的関係 | 当社の取締役が当該会社の代表取締役を務めます。 |
| 取引関係 | 当社は当該会社の経営指導を行っております。 |
| 関連当事者への該当状況 | 当社の孫会社であります。 |

4. 取得株式数

| | |
|---------------|-------------|
| | 株式会社ケイズクラフト |
| (1) 取得前（持株比率） | 0 株（0%） |
| (2) 取得株式数 | 60 株 |
| (3) 取得対価 | 0 百万円 |
| (4) 取得後（持株比率） | 60 株（100%） |

5. 日程

| | |
|------------------|-----------------|
| (1) 株式譲渡契約承認取締役会 | 2021 年 7 月 19 日 |
| (2) 株式譲渡契約締結日 | 2021 年 7 月 19 日 |
| (3) 株式譲渡日 | 2021 年 8 月 31 日 |

6. 業績への影響の見直し

当社の完全子会社であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であり、子会社化に

よる相乗効果により、連結業績の向上に貢献していくものと考えております。

以 上